

CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)youmeマート松橋店 新築工	階数	地上1F		
建設地	熊本県宇城市松橋町大字園田878番地1他	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)	平均居住人員	XX 人		
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	6,570 時間/年		
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2013年9月 予定	評価の実施日	2013年7月23日		
敷地面積	11,094 m ²	作成者			
建築面積	6,936 m ²	確認日	2013年7月25日		
延床面積	6,689 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

■ BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

排出率

60%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

重点事項	評価点
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	87.5
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	56.2
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0
【重点事項4】 循環型社会の実現	84.7

評価点

78

■ 熊本県重点評価基準

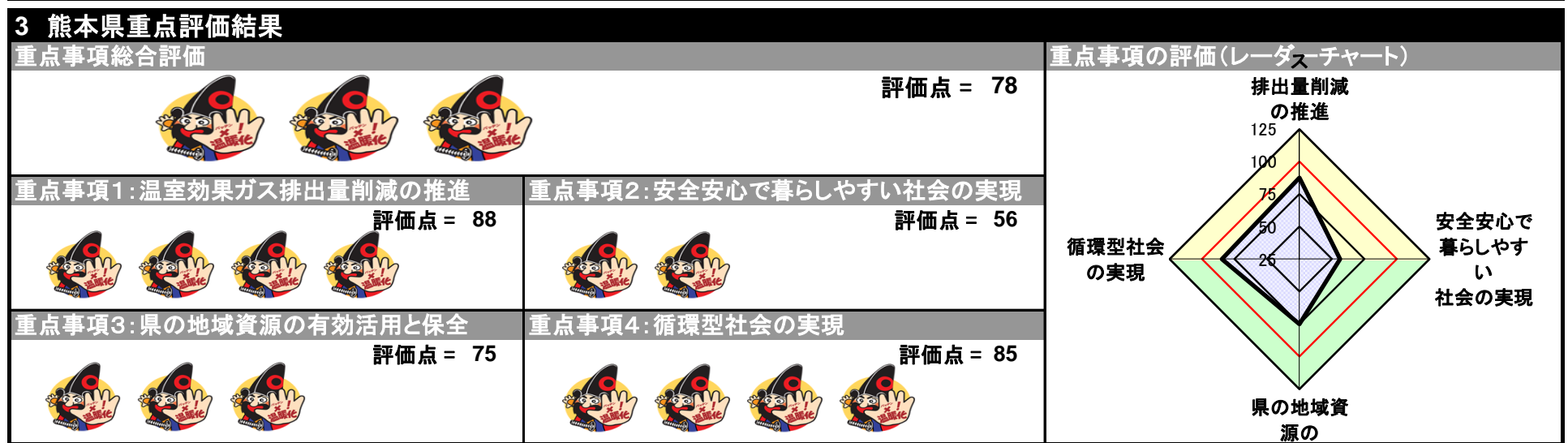
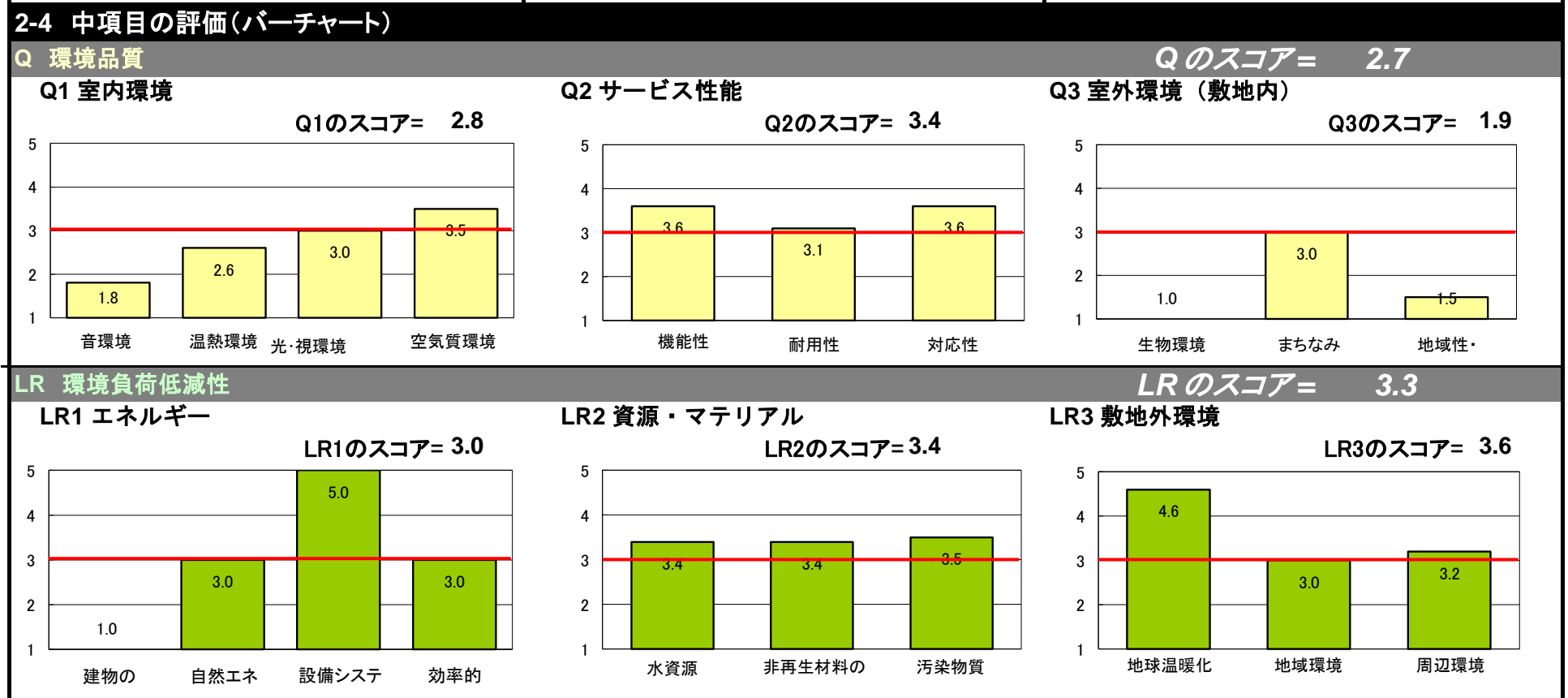
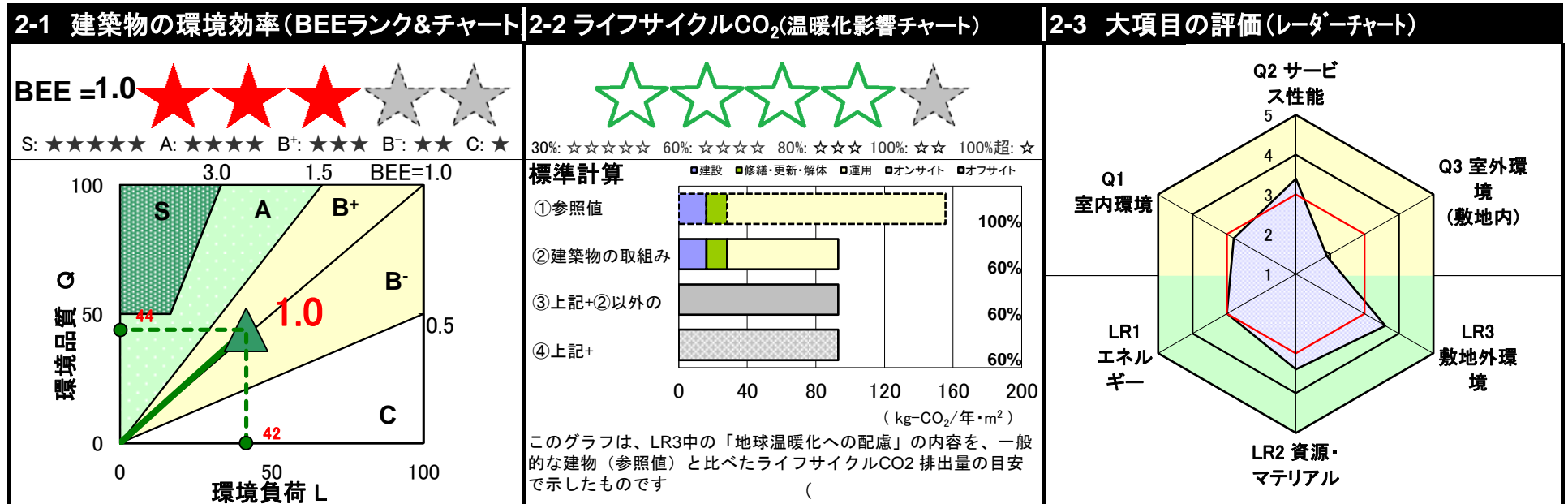
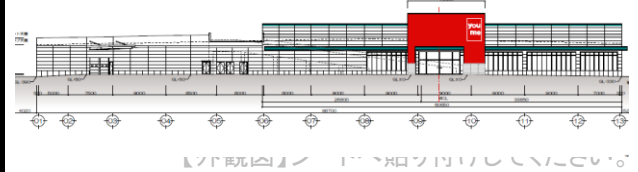
判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE® 熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)youmeマート松橋店 新築工	階数	地上1F
建設地	熊本県宇城市松橋町大字園田878番地1他	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	6,570 時間/年
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年9月 予定	評価の実施日	2013年7月23日
敷地面積	11,094 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	6,936 m ²	確認日	2013年7月25日
延床面積	6,689 m ²	確認者	定森淳一



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
 (仮称)youme マート松橋店 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年版

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点への転記	み数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.40					2.8
1 音環境			1.8	0.15	-	-		1.8
1.1 騒音			3.0	0.40	-	-		
1 室内騒音レベル			3.0	1.00	3.0	-		
2 設備騒音対策			-	-	-	-		
1.2 遮音			1.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能			1.0	1.00	3.0	-		
2 界壁遮音性能			3.0	-	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音			1.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境			2.6	0.35	-	-		2.6
2.1 室温制御			3.0	0.50	-	-		
1 室温			3.0	0.50	3.0	-		
2 負荷変動・追従制御性			-	-	-	-		
3 外皮性能			3.0	0.17	3.0	-		
4 ゾーン別制御性			3.0	0.33	-	-		
5 温度・湿度制御			-	-	-	-		
6 個別制御			-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮			-	-	-	-		
8 監視システム			-	-	-	-		
2.2 湿度制御			1.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境			3.0	0.25	-	-		3.0
3.1 昼光利用			3.0	0.50	-	-		
1 昼光率			3.0	-	3.0	-		
2 方位別開口			-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備			3.0	1.00	3.0	-		
3.2 グレア対策			-	-	-	-		
1 照明器具のグレア			-	-	-	-		
2 昼光制御			3.0	-	3.0	-		
3 映り込み対策			-	-	-	-		
3.3 照度			3.0	-	3.0	-		
3.4 照明制御			3.0	0.50	3.0	-		
4 空気質環境			3.5	0.25	-	-		3.5
4.1 発生源対策			4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質	仕上材料はF☆☆☆☆以上、天井裏等はF☆☆☆☆以上を使用		4.0	1.00	3.0	-		
2 アスベスト対策			-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等			-	-	-	-		
4 レジオネラ対策			-	-	-	-		
4.2 換気			3.0	0.30	-	-		
1 換気量			3.0	0.50	3.0	-		
2 自然換気性能			3.0	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	-		
4 給気計画			-	-	-	-		
4.3 運用管理			3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御			3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-		3.4
1 機能性			3.6	0.40	-	-		3.6
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性			3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応			3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性			3.6	0.30	-	-		
1 広さ感・景観	売場の天井高=3.95m		5.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース			3.0	0.33	-	-		
3 内装計画			3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理			4.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	トイレ店舗の床はセラミックタイル、外部トラップは亜鉛メッキ		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保	清掃員控室、清掃用具庫、廃棄物スペース清掃流し確保他		5.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務			-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			3.1	0.31	-	-		3.1
2.1 耐震・免震			3.0	0.48	-	-		
1 耐震性			3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床セラミックタイル、天井化粧石膏ボード		5.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水、排水管、通気管はBランク以上、Eランクは不使用		5.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新			-	-	-	-	-
2.4 信頼性		災害の場 合 取組	3.4	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	節水型便器、配管系統を区分	5.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.6	0.29	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	H=5.15m	5.0	0.60	3.0	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.05	5.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制			1.0	0.30	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		高効率空調機、エコキュート	5.0	0.30	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=49.2%	5.0		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	水栓に節水コマ、節水型便器	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63	-	-	3.4
2.1	材料使用量の削減	F=400	4.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用、ビニル床タイル	4.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	外壁: ALC+軽鉄+PB	4.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.22	-	-	3.5
3.1	有害物質を含まない材料の使用	防水工事のプライマー	4.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		LCCO2=60%	4.6	0.33	-	-	4.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止	給湯設備はエコキュートで燃焼設備はない	5.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-
3	交通負荷抑制	駐車場は合計419台、出入り口は3か所に分散配置	4.0	0.33	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリストの過半、広告物照明のチェックリストの全項目を満	5.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

郊外に立地する店舗として、低層の建築で広い空地と駐車場を確保し、周辺環境の向上に配慮している。また、高効率の設備機器を採用し省エネを図っている。

Q1 室内環境

・仕上材料はF☆☆☆☆以上、天井裏等はF☆☆☆☆以上を採用し、良好な空気質環境を確保している。

Q2 サービス性能

・天井高は3.95mで十分確保し、床仕上げはセラミックタイルを使用し維持管理、耐用性に配慮している。
・空調・給排水管の耐用性は長く、節水型便器・系統の区分で信頼性を高めている。
・階高は5.15mで十分確保し、壁長さ比率0.05と空間のゆとりに配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

広い敷地を生かし、空地と緑地を確保し、周辺環境の向上に配慮している。

LR1 エネルギー

・空調機は高効率の空冷ヒートポンプパッケージエアコン、給湯はエコキュートとし省エネに配慮している。

LR2 資源・マテリアル

・節水型水栓・節水型便器を採用し、節水に取り組んでいる。
・高強度の鉄骨材料を使用し省資源化を図っている。

LR3 敷地外環境

・給湯設備はエコキュートを使っており、外部に対し、大気汚染物質を全く発生させない配慮を行っている。
・十分な台数の駐輪場・駐車場を確保し、交通負荷の抑制に努めている。
・敷地外への光害対策に努め、広告物の照明に配慮している。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)youme マート松橋店 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v1.3)_kmt2011(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点	78.2	
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				87.5	0.40	35.00
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.08			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.07			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.00			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	1.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	4.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				56.2	0.20	11.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	1.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				84.7	0.20	16.94
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数